

胸の羽毛にヒシの実を付けたオナガガモ

今村知子¹・斉藤安行²

キーワード：オナガガモ、ヒシ、種子散布

ヒシのなかまの種子散布の方法は、鳥の羽毛に付いて運ばれる動物散布（多田 2002）あるいは水散布と動物散布の両方であると言われている（中西 1994, ミュージアムパーク茨城県自然博物館 2006, 岡本ら 2011）。しかし、実際に鳥がヒシの実を運んでいたという記録は、新潟市佐潟におけるコハクチョウ *Cygnus columbianus* についての報告があるのみである（渡辺 2000）。

著者らは、2010年11月28日、茨城県坂東市神田山の菅生沼湖畔で、ヒシ *Trapa japonica* の実を付けたオナガガモ *Anas acuta* 雌1個体を観察したので、報告する。

ヒシの実は、オナガガモの右胸に1個付いて（図1）、オナガガモが水面にいても、陸に上がっていても、しっかり胸に付いたままだっ



図 胸にヒシの実を付けたオナガガモと湖畔に打ち上げられたヒシの実

Fig. Northern Pintail *Anas acuta* with a nut of *Trapa japonica*, and the nuts washed up on the shore.

た。オナガガモは、ヒシの実が気になる様子で、嘴でしきりにつついていた。ヒシの実が、いつどこでオナガガモの胸に付いたのかは不明である。

ヒシの実は、沼の岸边近くにたくさん浮いていたほか、岸边にも大量に打ち上げられていた（図1）。オナガガモの胸に付いていた実や、沼内に浮いていたり岸边に打ち上げられていた実は、すべて黒色であった。沼内に浮いている実や岸边に打ち上げられていた実を手にとってみると軽かったが、それらが熟していたかどうかはわからなかった。

ヒシの仲間には逆向きのトゲがあり、そのトゲは発芽の際水底に固定するためのアンカーの役割を持つとともに、鳥の羽毛に付着するための役割を担っていると言われている（中西 1994, ミュージアムパーク茨城県自然博物館 2006, 岡本ら 2011）。しかし、後者については、発芽能力のあるヒシの実には黒く熟す前に水の底に沈むため、鳥に付着するチャンスはかなり少ないのではないかという異論もある（伊藤・丸山 2009）。渡辺（2000）は、水鳥による水草の種子散布に関しては知見が決定的に不足していることを指摘し、事例を集める必要があると述べている。今回オナガガモに付いていたヒシの実が熟していたかどうかは不明であるものの、ヒシの実が鳥の羽毛に付着していたひとつの観察例である。

1 〒302-0034 茨城県取手市戸頭 1634-2-609

2 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3 我孫子市鳥の博物館

謝辞

本報告を書くにあたり、文献を提供していただいた渡辺朝一氏に感謝する。

引用文献

- 伊藤ふくお・丸山健一郎. 2009. ひつつきむしの図鑑フィールド版. トンボ出版, 大阪.
- ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編). 2006. 第38回企画展とんだネ・ついたネ・およいダネ 種子の不思議を科学する. ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 坂東市.
- 中西弘樹. 1994. 種子はひろがる-種子散布の生態学. 平凡社, 東京.
- 岡本素治・小林正明・脇山桃子. 2011. 種子のデザイン 旅するかたち. INAX 出版, 東京.
- 多田多恵子. 2002. SCC ガーデナーズ・コレクション したたかな植物たち. エスシーシー, 東京.
- 渡辺朝一. 2000. ヒシの実を胸に付着させて飛ぶコハクチョウ. 水草研究会会報, (71): 22-23.

Northern Pintail *Anas acuta* attached a nut of *Trapa japonica* in breast feather

Tomoko Imamura¹ & Yasuyuki Saito²

1. 1634-2-609, Togashira, Toride City, Ibaraki Prefecture, 302-0034, Japan
2. Abiko City Museum of Birds. 234-3 Konoyama, Abiko City, Chiba Prefecture, 270-1145, Japan

Summary

We observed Northern Pintail *Anas acuta* which was attached a nut of *Trapa japonica* on breast feather. This observation suggests the possibility of seed of *Trapa japonica* dispersal by waterfowl.

Key Words : Northern Pintail, *Anas acuta*, *Trapa japonica*, seed dispersal